



Press Release

2019年6月6日

フィンテックシステム開発コンテスト「フィンテックアワード2019」開催

コンテストを通して、フィンテックシステム開発者を育成し市場を拡大

一般社団法人フィンテックガーデン

フィンテック開発者の支援団体、一般社団法人フィンテックガーデン（理事長：義永洋士、本部：東京都千代田区、<https://fintech-garden.com/>）は、企業・起業家・学生を対象にしたフィンテックシステム開発のコンテスト「フィンテックアワード2019」を初めて開催し、2019年9月11日に表彰式を開催します。

このコンテストの参加資格は、日本国内に居住する企業及び個人で、応募締切は本年8月30日（金）です。応募作品は、ブロックチェーンや銀行間のシステムなどから銀行のデータを活用したり、会計ソフトとの連動というような広い範囲で応募を受付けます。応募された作品は、一次審査を通過した上位6社のフィンテック企業および個人を、9月11日に発表・表彰します。入選者には、優勝賞金60万円をはじめ、各種の表彰を贈呈します。

今、世界中で金融とITの融合化である「フィンテック」が急速に進化を遂げています。フィンテックの今後の成長に欠かせないのは、中小のIT企業や起業家の斬新なクラウドシステムの開発です。フィンテック・プログラムの開発者を育成することは日本の大きな課題です。

そこで、フィンテックの業界団体であるフィンテックガーデンは、広く企業・起業家・学生を対象としたフィンテックシステムのコンテストを主催して表彰します。「フィンテックアワード2019」の開催を通して、フィンテックシステム開発者を育成し、市場の拡大に貢献することを目指します。

コンテストの開催当日の様子は、オンデマンドにより全国にリアルタイムで配信する予定です。

<開催概要>

【コンテスト詳細】

- ・日時：2019年9月11日（水）、16:30～19:00（入場16:00から）
- ・会場：紀尾井フォーラム
- ・発表者：一次審査を通過した上位6社のフィンテック企業、個人
- ・表彰：優勝60万円、2位30万円、3位10万円、入賞5万円
- ・審査：事前審査、一次審査、最終審査
- ・審査内容：新規性・実現性・有用性
- ・審査結果：会場内での表彰

【コンテストへの応募】

- ・参加資格：日本国内に居住する企業及び個人
- ・応募締切日：2019年8月30日（金）必着
- ・応募方法：<https://fintech-garden.com/award2019.html>から必要事項を記入。



その後の資料送付、質問事項などは別途ご連絡いたします。

【応募作品について】

- ① 作品は、応募者本人が制作したオリジナル作品に限ります。
- ② 作品制作にあたり、発想・機能について参考にしたソフトウェアがある場合は、必ずそのソフトウェア名と相違点を告知してください。
- ③ 応募作品は、他人の著作権等を侵害していないものに限ります。
他人が権利を有する著作物を引用している場合は適切な方法で権利者の許諾を得ていることが応募条件となります。
- ④ 書類一式は返却いたしません。
- ⑤ 各審査通過者の作品及び氏名は、インターネットで紹介いたします。
- ⑥ 応募作品の著作権は応募者本人に帰属します。
ただし、⑤及びこれに付随する範囲において、主催者および事務局が利用することは無償で認められるものとします。
- ⑦ベンチャーキャピタルやエンジェルなどから出資を受ける場合は自己責任でお願いします。
- ⑧入選者のうち、一定の条件を満たす方にはベンチャーキャピタル、クラウドファンディングへの推薦が可能です。

【応募作品例について】

●例1：銀行データから売掛金の消込を行うシステム

銀行の取引明細データをダウンロードし、各メーカーの請求書システムの売掛金データと付け合せをし、未回収の売掛金リストを作成するシステム。

●例2：QRコードを使った領収書システム

領収書に取引内容の詳細を記載したQRコードを印刷するシステム。このQRコードが印刷された領収書はスキャナーやスマホで読み取りデータ化することが出来る。

<参考情報>

【フィンテックガーデンについて】

一般社団法人フィンテックガーデンは、国内のフィンテックデータを共通化するプラットフォームを実現するために設立されました。公開APIや公開フィンテックシステムをSierやプログラマ、企業が自由に利用できるプラットフォーム、データベースを順次公開していきます。

【フィンテックガーデン設立の背景】

国内のフィンテックデータは、APIが公開されていない、または各社による独自のデータフォーマットにより様々なデータが個々に独立し共通化されていません。そのため各社独自のデータを取り込むために、ひとつひとつシステムを開発しなければなりません。そこでフィンテックガーデンは、国内のフィンテックデータを共通化し、システムをひとつ作成するだけで様々なデータを入出力する事ができるようになるシステムを開発していきます。

【フィンテックガーデンの未来】

フィンテックガーデンのAPI、システムの仕様などはエコシステム（複数の企業・団体が共存共栄する仕組み）として銀行や様々なフィンテック企業に公開し自由に作成していただけるようにします。またビッグデータや人工知能（AI）の活用、新しい決済手段なども検討していきたいと考えています。フィンテックガーデンは開発会社やベンチャー企業と協力しながら国内のフィンテック産業を育成していきたいと考えています。

【名称の由来】

フィンテックガーデンは金融だけでなく、保険や会計、電子領収書など業種業態により異なるプラットフォームを作成していきます。フィンテックガーデンの「ガーデン」の由来は個々の業種業態ごとのプラットフォーム、つまり「庭」を作るという所から派生しています。

■報道関係者お問合せ先

一般社団法人フィンテックガーデン 担当：井上

東京都千代田区神田須田町 2-8ASK ビル 7 階

TEL:03-6290-9506

E-mail : inoue@fintech-garden.com

URL: <http://fintech-garden.com>